

鉄鋼技術情報センターだより

センター新着図書を紹介致します。

下記資料の照会先：鉄鋼技術情報センター 電話 03-241-1228

書 名	著 者・編集者名	出版年	頁数
生産加工技術に関する最近の研究成果および展望 —第 21 回機械技術研究所研究講演会資料—	日本産業技術振興会	1989	87
混相流における最新の計測技術とシミュレーション手法 —第 2 回混相流インターナショナル・レクチュア・コース—	日本混相流学会	1989	280
Oscillation Problems of Offshore Structure	日本船舶振興会	1989	217
鉦工業プロジェクトフォローアップ調査報告書 (要約版)	国際協力事業団	1988	20
シンガポール・インドアスタジアム及び高層ビル群見学会報告書	日本鋼構造協会	1989	59
史跡・葦山反射炉保存修理事業報告書	葦山町教育委員会	1989	208
Advances in Corrosion Protection by Organic Coatings —Proceedings of the International Symposium—	Martin Kendig David Scantlebury	1989	129
Stahleisen-Wörterbuch Iron and Steel Dictionary 5th enlarged edition 1989	Verlag Stahleisen mbH	1989	481
核融合特別研究総合総括班事業報告 昭和 63 年版	核融合科学研究所	1989	168
電炉鉄筋棒鋼の品質特性調査報告書	普通鋼電炉工業会	1989	70
Electric Steelmaking	Elektrostahlwerler	1989	170
Continuous Casting of Steel Fundamental Principles and Practice	Hans F. SCHREWE	1989	194
鉄鋼二次製品年鑑—平成元年版—	鋼材倶楽部	1989	267
圧力容器局部溶接後熱処理手順書	現地焼鈍施工小委員会	1988	104
監視制御システム実用便覧	大森豊明	1989	1768
日本溶接協会 40 年史 —溶接この 10 年の歩み—	日本溶接協会	1989	296
日本金属学会 50 年史	日本金属学会	1987	99
日本伸鋼協会 40 年の歩み	阿部和男	1988	159
非破壊検査技術者技量認定制度 20 年史	日本非破壊検査協会	1989	39
現代制御理論基礎構座 —初級テキスト—	計測自動制御学会	1989	98

1. 第 27 回情報検索委員会 (平成 2 年 4 月 10 日 (火), 新日鉄新山谷寮, 最終回): 旧鉄鋼技術情報センター運営委員会の下部機構として, JISTIC 設立当初から, JICST のオンライン情報検索システムを始めとする各種データベースの利用法および検索技術を中心とした情報管理に関する研究会としての活動を続けて来た情報検索委員会は, 新センター運営委員会への改組に伴うものとして解散することとなり, 当日は東大の梅田委員長を始めとして情報検索委員会に関係のあった古いメンバーや事務局の女性職員 OB も参加して, 情報管理のれい明期に, 啓蒙・普及活動的勉強会として大きな役割を果たした委員会の閉会を惜しみ, 過ぎ越し方のお互いの若き日々を懐しみつつ, ひとまず情報検索委員会としての幕を閉じることとなった。
2. 第 39 回図書資料委員会 (平成 2 年 4 月 27 日 (金), 新東京ビル, オホーク, 最終回): こちらも旧センター運営委員会の下部機構として, 鉄鋼技術情報セ

- ンターの図書館業務に関する資料の収集, 提供等の具体的問題の運営にかかわる活動に永年にわたって大きな役割を果たして来た図書資料委員会も情報検索委員会と同様に解散することとなり, JICST の片岡委員長を始めとし, 各委員および事務局職員の参加のもとに, 思い出を語り合い, さらに未来へ向けての鉄鋼技術情報センターの活動方針に期待を寄せつつ, いづれまたの日の再会を期して閉会となった。
3. 情報管理共同研究会(仮称)準備会 (平成 2 年 5 月 24 日 (木), 日本ビル別館 B2 会議室): 新センター運営委員会の下部機構として, 鉄鋼会員各社が急速に進展する情報管理技術のあり方を探求し, 最新の情報技術の活用方法について相互に勉強するための場の提供機能としての情報管理共同研究会の設置の必要性の有無, テーマ, 性格付け等について, 主として鉄鋼各社からの推選メンバーによる検討が行われた。その結果をまとめ, 次回運営委員会に提出することとなった。